

[野菜部門]

7. ミナミキイロアザミウマの天敵であるタバコカスミカメへの影響が小さい農薬の選定

[要約]

促成栽培ナス生産現場で主に使用されている登録農薬36剤のうち、25剤はタバコカスミカメに対して影響が認められない。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話086-955-0543

[分類] 情報

[背景・ねらい]

岡山県の促成ナス栽培では、難防除害虫のミナミキイロアザミウマの防除対策として、本圃に土着天敵のタバコカスミカメを放飼している。そこで、栽培期間中に使用してもタバコカスミカメに影響しない農薬（殺虫剤、殺菌剤、展着剤）を選抜し、タバコカスミカメと農薬との併用による安定的かつ効果的な防除体系の確立を目指す。

[成果の内容・特徴]

1. 殺虫剤17剤のうち、タバコカスミカメの成虫及び幼虫に影響しない農薬は14剤、影響が大きい農薬は3剤である（表1）。
2. 殺菌剤14剤のうち、タバコカスミカメの成虫及び幼虫に影響しない農薬は9剤、影響が中程度の農薬は5剤である（表1）。
3. 展着剤5剤のうち、タバコカスミカメの成虫及び幼虫に影響しない農薬は2剤、影響が中程度の農薬は3剤である（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. タバコカスミカメを利用している圃場では、タバコカスミカメに影響しない農薬を使用する。影響が中程度の農薬を使用する場合は、タバコカスミカメ定着後（放飼約1か月後）とし、影響が大きい農薬は使用しない。
2. 農薬混用時の影響は確認していない。

[具体的データ]

表1 タバコカスミカメの成虫及び幼虫に対する各種農薬の影響

農薬名	希釈倍率	影響評価 ^z	
		成虫	幼虫
殺虫剤			
ウララDF	2,000	○	○
コルト顆粒 (水)	4,000	○	○
チェス顆粒 (水)	5,000	○	○
トリガード (液)	1,000	○	○
粘着くん (液)	100	○	○
フェニックス顆粒 (水)	2,000	○	○
プレオ (フ)	1,000	○	○
プレバソン (フ)	1,000	○	○
ラノー (乳)	1,000	○	○
カネマイト (フ)	1,000	○	○
コロマイト (乳)	1,500	○	○
スターマイト (フ)	2,000	○	○
ダニサラバ (フ)	1,000	○	○
ニソラン (水)	2,000	○	○
マッチ (乳)	2,000	○	×
アグリメック (乳)	500	×	×
アフーム (乳)	2,000	×	×
殺菌剤			
アフエット (フ)	2,000	○	○
ガッテン (乳)	5,000	○	○
カリグリーン (水溶)	800	○	○
カンタスドライ (フ)	1,000	○	○
トリフミン (乳)	2,000	○	○
フルピカ (フ)	2,000	○	○
パンチョTF顆粒 (水)	2,000	○	○
ベルコート (フ)	2,000	○	○
ロブラール500アクア (フ)	1,000	○	○
ストロビー (フ)	3,000	△	○
セイビアー20 (フ)	1,000	△	○
ダコニール1000 (フ)	1,000	△	○
サンクリスタル (乳)	300	△	△
ハーモメイト (水溶)	800	△	△
展着剤			
ニーズ	1,000	○	○
アプローチ	1,000	○	○
スカッシュ	1,000	△	○
ブレイクスルー	5,000	△	△
まくびか	3,000	△	△

^z 虫体浸漬法で検定し、死亡率が30%未満のものを影響がない(○)、30%以上80%未満のものを影響が中程度(△)、80%以上のものを影響が大きい(×)と区分

[その他]

研究課題名：促成栽培ナスのミナミキイロアザミウマに対する新たな天敵を組み合わせた
総合防除体系の確立

予算区分：交付金（病害虫防除農業環境リスク低減技術確立）

研究期間：2013～2015年度

研究担当者：西優輔、畔柳泰典